

光星男子2年ぶりV

光星女子は決勝で涙



【女子決勝・柴田 八学光星】第4クォーター8分すぎ、八学光星は米谷日里(中央)がシュートを決め、72-91と食い下がる

全国高校バスケットボール選手権(ウインターカップ)青森県予選最終日は24日、むつマエダアリーナで行われた。男子は八学光星が今夏の県高校総体を制した柴田に競り勝ち、2年ぶりV。女子決勝では、柴田が八学光星を下し、頂点に立った。

トボール選手権(ウインターカップ)青森県予選最終日は24日、むつマエダアリーナで行われた。男子は八学光星が今夏の県高校総体を制した柴田に競り勝ち、2年ぶりV。女子決勝では、柴田が八学光星を下し、頂点に立った。

判断ミス悔やむ

〇…女子決勝に臨んだ八学光星は、今夏の全国高校総体8強の柴田に敗れ、2年連続準V。第1クォーター(Q)はリードを奪ったものの、第2Q以降は攻守の切り替えが悪く、逆転された。佐々木瑠希乃主将は「パス、シュートの判断ミスが多かった」と肩を落とした。

組み立てを阻止され、速攻からの失点が目立った。佐々木主将は「相手の圧力にやられた。もっとカバーし合いながらプレーしなければならなかった」と悔やんだ。

今大会は2年生主体のチームで挑んでおり、来季は巻き返しが期待される。20得点を奪うなど、奮闘した米谷日里は「主導権を渡さないような攻撃を目指していく。もっと決定力も磨いていきたい」と前を見据えた。

前からの果敢な守備を仕掛けてくる相手に対し、攻撃の



【男子決勝・柴田-八学光星】第4クォーター9分58秒、八学光星は三浦悠音(中央)がレイアップを決め、86-77とする=むつマエダアリーナ

リバウンド制し逆転

男子の八学光星が終盤の驚異的なゴールラッシュで、今夏の県高校総体決勝で敗れた柴田にリベンジを果たし、2年ぶりの頂点に立った。9点ビハインドで迎えた第4クォーター(Q)に守備のリバウンドを次々と制し、速攻を仕掛けて圧倒した。勝ち越しの瞬間、会場には歓喜と悲鳴が入り交じった。今南央主将は「相手の運動量が落ちた隙を突いた。絶対に走り勝つ自信があった」とうなず

柴田に夏の雪辱

いた。勝因はリバウンドでの強さだった。序盤は身長の高いメンバーをそろえた相手に競り負ける場面が目立ち、一時は14点のリードを奪われた。第2Q終了後、チームはゴール下で負けるなとボジショニングを確認した。試合が進むにつれて、リバウ

ンドの精度が上がり、攻撃にエンジンがかかった。センターの1年三浦悠音は「上背のある相手をゴール下から追い出すように体を張った。相手が自陣に戻る前に攻撃につなげられた」と胸を張った。今夏の県高校総体で全国切符を逃した悔しさを糧に、チームは「走り勝つバスケット」を目標に掲げ、鍛錬してきた。その成果を遺憾なく発揮しての勝利。佐々木彰彦コーチは「よく最後まで足を動かしてくれた。粘り強い戦いだ」と選手をたたえた。全国大会は約2カ月後に控える。今主将は「全国にはもっと大柄の選手がたくさんいる。フイジカル面を強化して、競り負けないようにする」と力を込めた。(上村公悟)

男子	女子
八学光星 86	八学光星 72
柴田 77	柴田 91
八学光星 25	八学光星 16
柴田 20	柴田 16
八学光星 15	八学光星 16
柴田 13	八学光星 16
八学光星 31	八学光星 16
柴田 24	八学光星 16
八学光星 25	八学光星 16
柴田 19	八学光星 16
八学光星 15	八学光星 16
柴田 24	八学光星 16
八学光星 25	八学光星 16
柴田 19	八学光星 16